

# 国語科学習指導案

授業日 令和5年11月29日

学習者 3年1組 30名

授業者 久井 美紀

## 1. 単元名「食べ物のひみつを教えます」

## 2. 単元の目標

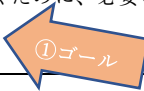


- ・比較や分類の仕方、辞典の使い方を理解し使うことができる。(知(2)イ)
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思B(1)ウ)
- ・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思C(1)ア)
- ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知(3)オ)

## 3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解し使っている。 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えている。	積極的に説明される内容とそれを支える事例との關係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとしている。学習の見通しをもって、文章の説明の工夫を見つけてそれを活かして書こうとしている。

調べた食品の中から、せつ明に使う例をえらんで、しょうかいするじゅん番を決めよう。

## 4. 単元計画と学習評価 (全8時間)

時	学習内容	学習評価 (知・思・主) 〈方法〉
1	食べ物の秘密を説明する文章を書くために、必要なことを考えよう。 	・作例を読み、「すがたをかえる大豆」で学習した説明の工夫とつなげて考えている。(思) 〈発言・観察〉 ・説明する文章を書くまでの流れを理解し、進んで学習計画を立てようとしている。(主) 〈発言・ノート〉
2 3	調べたい食材を選び、どんな工夫があり、どのような食品に姿を変えているのか調べて、ノートにまとめよう。	・文章を書くという目的を意識して、本などを活用して情報を収集している。(知) 〈観察・記述〉 ・図や表を用いて情報を整理する方法を理解し、情報を分類し、まとめることができる。(知) 〈交流・発言・ノート〉
4 (本時)	調べた工夫と食品の中から、説明に使う例を選んで、紹介する順番を決めよう。 	・図や表を用いて情報を整理する方法を理解し、集めた工夫と食品の情報を比較して、選択・並べ替えをすることができる。(知) 〈交流・発言・ジャムボード〉 ・集めた工夫と食品の情報を比較しながら、理由をもって選択・並べ替えをすることができる。(思) 〈交流・発言・ジャムボード〉
5	「はじめ」「中」「終わり」に分けて、文章の組み立てを考え、下書きをしよう。	・学習した内容を振り返り、分かりやすい文章の組み立てや例の書き方を理解している。(思) 〈発言・ワークシート〉
6	完成した下書きを友達と読み合っ、よいところを伝えたり、アドバイスをしたりしよう。	・整理した情報を組み立てにまとめ、友達と助言し合っ、組み立てや例の書き方がよりよくなるよう工夫している。(思) 〈発言・交流・ワークシート〉
7	アドバイスを基に、清書をしよう。	・適切な事例を選び、順序に気を付けながら、接続語を適切に使っ文章を書いている。(思) 〈観察・ワークシート〉 ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。(思) 〈観察・ワークシート〉
8	友達と書いた文章を読み合っ、感想を伝え合おう。単元の学習を振り返ろう。 	・交流を通して、分かりやすい説明にするための工夫についての理解を深めている。(主) 〈観察・発言・交流〉 ・文章を読んだ感想を伝え合っ、友達や自分の文章のよいところを見つけている。(主) 〈観察・発言・交流〉

5. 本時でめざす子どもの姿

○選んだ食材を取り上げる例や例の順番を、自分なりの理由をもって表すことができる。(思考・判断・表現)〈発言・交流・ジャムボード〉

6. 仮説との関連

①「やってみたい」と思える課題設定の工夫(仮説1)

児童の「やってみたい」を引き出すために、魚やいも、とうもろこし等、調べる食品の選択肢を6種類準備し、児童が興味のある食品を調べられるようにした。また、本時では友達とチームになって選択、順序決めをする選択肢を与えたことで、1人で取り組むのは不安な児童も安心感を持ち、やってみたいと思えるようにした。

②学びの場の保障(仮説2)

授業開始3分のタイミングで課題提示をすることで、児童が試行錯誤をしながら学ぶ時間を出来る限り確保した。また、主体的に活動できるよう、個人でやるか友達とチームになってやるかは自己決定させる形式をとった。

7. 本時の学習展開(4/8)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 3分	○単元の流れを確認し、本時の学習内容を確認する。 調べた食品の中から、説明に使う例を選んで、紹介する順番を決めよう。	※前時の学習の振り返りをしたあと、単元のゴールを確認し、本時の学習の必要感をもたせる。
展開 35分	<p>② せつ明で使うくふうとれいをえらんで、ならべかえをしよう。</p> <p>○説明の例に使う食品の選択・並べ替えを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工夫と食品の選択・並べ替えを行う終了時間を決める。</li> <li>個人で考えるか、友達とチームになって考えるか、個人でやりながら時々友達と交流するか、自分で選び、それぞれ取り組む。</li> <li>前時のノートを見ながら、ジャムボードを使って選択、並べ替えをしていく。</li> </ul> <p>○食品の選択・並べ替えの順序を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ工夫と食品、並べ替えの順序を友達に伝える。</li> <li>友達の考えを聞き、よさを伝えたり、アドバイスをしたりする。</li> </ul> <p>○全体で発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何人かの児童に、交流をして変わったことや嬉しかったこと、まだアドバイスがほしいことを発表する。(全体)</li> <li>友達の発表を聞き、選択や並べ替えた順序のよさを見つけたり、アドバイスをしたりする。(全体)</li> </ul>	<p>※取り組み方は自分に合った方法を選ぶように指示する。また、チームを組む際には、同じ食材同士でも違う食材同士でもよいことを伝える。</p> <p>※ジャムボードの使い方の確認をし、選択する食品は3~5個程度を目安とするとよいことを伝える。</p> <p>□食品の情報を比較しながら、選択・並び替えをすることができる。(知)〈発言・交流・ジャムボード〉</p> <p>□工夫と食品の選び方や並べ方を「すがたをかえる大豆」で学んだ視点を基に考えを伝えることができる。(思)〈発言・交流〉</p> <p>※友達の選択や並べ替えた順序に着目して話を聞き、よさを伝えたりアドバイスをしたりするように指示する。</p>
終末 7分	○本時の振り返りをする。 ○次時への見通しをもたせ、学習意欲を高める。	<p>※振り返りの視点を提示する。</p> <p>※単元のゴールを再度確認し、次時に取り組むことを確認する。</p>

